

青少年センターは、青少年グループの利用の場合は無料で使えます。そのため、多くの人にルールやマナーを守ってもらうため、音楽室を初めて使う方全員にオリエンテーションを行っています。なるべく多くの人たちが使えるよう、お互いに配慮するという公共施設を使う上での理念に沿って、以下の事項を行わないよう皆さんにお願いしています。

- ① 利用日 **3 日前からのキャンセル**。
- ② 利用当日に **30 分以上の遅刻**、  
または **30 分以上の早退**。
- ③ **鍵が時間内に返却されない**。  
(事務室への**返却が 5 分経過すると NG**)
- ④ 音楽室内での**飲食**。
- ⑤ **掃除機を使用した部屋の掃除が出来ていない**。(ギターの**弦交換をした際に**  
出るゴミなどの持ち帰りが出来ていない)
- ⑥ アンプ等の**ボリュームを 0 にしていない**。  
ドラム位置の移動。
- ⑦ 終了後の**整理整頓**(エアコンや電灯の OFF や窓や  
ドアの**施錠を含む**) がされていない。

以上のことは **NG** です。

## 利用申し込みに関すること

### ■予約申し込みについて

- ① 利用予約は、30歳以下の青少年が4名以上のグループで使うことが前提。
- ② 青少年が2～3名のバンドやグループは前日、もしくは当日のみ予約可能。(1名は不可)
- ③ 見込み予約・とりあえず予約はNG。
- ④ 電話で予約した場合、4日前までに申請書を提出すること。

### ■キャンセルについて

- ① 当日キャンセル・無断キャンセルはNG。
- ② 当日、連絡無く使用開始時間を30分過ぎた場合は、無断キャンセル扱いとします。
- ③ 予約後、利用日の人数が3名以下になることがわかった場合は、4日前までにはキャンセルの連絡をすること。利用日の3日前～前日のキャンセルはNG。
- ④ 時間の変更についても、短縮する場合はキャンセルと同じ扱いとします。

### ■音楽室の利用予約回数について

- ① 予約できるのは、月曜日から日曜日までの1週間単位で2回まで。
- ② 土・日・祝日の予約は①の1週間単位で1回だけ。
- ③ 利用の前日、当日の予約については時間及び回数制限を適用しない。

### ■音楽室の利用予約時間について

- ① 平日は、17:00～19:00、19:00～21:00の2コマに当てはまるように予約して下さい。
- ② 土日・祝祭日は、午前区分(9:00～12:00)、午後区分1(12:00～15:00)、午後区分2(15:00～18:00)、夜間区分(18:00～21:00)の各区分内で予約して下さい。  
※夏休み(7/20～8/31)・冬休み(12/22～1/6)・春休み(3/20～4/6)は、②と同じ区分です。

### ■その他

- ① グループ間で、使用权のやり取りやまた貸しや名義貸しはNG。
- ② 発覚した場合は、関わったグループとメンバーが属する他のグループも使用停止。

## 音楽室の使用に関すること

### ■鍵の受け取り・返却

- ① スタジオ機材を使用する場合、必ず事前に「スタジオ機器サービス利用申込書」を記入し、必要物品を受け取ってください。(ピアノの使用やドラムフットペダル持込の際も必要です)
- ② 申請時間になったら、鍵を取り、ホワイトボードに名前を記入。
- ③ 申請時間終了までに、鍵を事務室の鍵掛けに返却。利用者同士の直接の鍵の受け渡しはNG。  
※使用終了時間を5分以上過ぎてからの鍵の返却はNG。  
※予約した時間より30分以上早く帰る場合もNG。
- ④ 鍵の返却時に利用報告書を毎回必ず提出してください。

## ■使用時の注意

- ① 終了時間の10分前には清掃、机・いす・機材の片付けを開始。部屋全体に掃除機をかけるとともに、ドラムの周りは入念にスティックくずを掃除機で掃除してください。
- ② ゴミは、すべて持ち帰って下さい。
- ③ 機材は、室内に貼ってあるレイアウト図のとおりの位置に戻してください。
- ④ 室内は、土足厳禁。入室前に靴を脱ぎ、室内の下駄箱に入れてください。ドラマーは裸足か上靴を持参してください。
- ⑤ 室内では、機材の保全及びダニの発生防止のため一切の飲食はNG。(職員が見回りします)  
※飲み物は、一旦廊下に出してから飲んでください。
- ⑥ 部屋を出入りするときは、演奏を止めて音が外部に漏れないようにして下さい。
- ⑦ 退室時はエアコンや電灯のOFFや窓やドアの施錠をして下さい。

## ■機材についての注意事項

- ① 故意はもちろん過失により、貸出機材を故障または損傷させた場合は、修理費用または代替品の購入費用を弁償していただきます。  
※通常の使用により、損傷した場合(例：ドラムヘッドの劣化による破れや摩耗によるネジの破損など)は、弁償責任はありません。  
※機材等、使用前に不具合があれば必ず使用前に事務室へ連絡してください。
- ② 持込楽器が故障または損傷した時は、いかなる場合も補償はできません。
- ③ ドラムレイアウトの変更はNG。

## ■アンプの操作

- ① ギター、ベース、キーボードや、PA(マイク用)など全てのアンプについて、電源を入れる際は、ボリュームを0にしてから、操作してください。急に大きな音を出すとアンプが故障します。十分注意して操作してください。同様の理由で、シールドや電源コードの抜き差しも、電源がOFFの状態で行ってください。
- ② なお、ベースアンプのボリュームは、故障と騒音の原因になるので真ん中以上にはしないでください。

